



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 日本ピグメント株式会社  
 コード番号 4119 URL <http://www.pigment.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 龍巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部担当 (氏名) 今井 信一

TEL 03-6362-8801

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	21,884	8.7	305	△12.9	394	1.5	264	40.5
29年3月期第2四半期	20,136	△3.2	350	—	388	—	187	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,152百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △342百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	168.24	—
29年3月期第2四半期	119.69	—

(注) 当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	29,902	13,688	42.7
29年3月期	27,597	12,665	42.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 12,771百万円 29年3月期 11,741百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	8.00	8.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の1株当たり期末配当金は8円00銭となり、1株当たり年間配当金は 8円00銭となります。詳細につきましては「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	0.9	1,050	0.4	1,100	1.0	700	1.3	445.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年3月期の通期業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	1,575,899 株	29年3月期	1,575,899 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	5,557 株	29年3月期	5,403 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	1,570,394 株	29年3月期2Q	1,570,523 株

(注)当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は平成29年6月29日開催の第81回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を行っております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株へ変更)を実施しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の連結業績予想、配当予想は以下のとおりです。
  - ・平成30年3月期の連結業績予想(1株当たり当期純利益): 44円57銭
  - ・平成30年3月期の配当予想 (1株当たり期末配当金): 8円00銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(セグメント情報等).....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の緩やかな回復、企業収益や雇用環境の改善が進み、全体として回復基調が続いております。海外経済は米国を中心に回復に向かっておりますが、地政学リスクの高まり等の懸念材料もあり、先行き不透明な状況です。

このようななか当社グループにおいては、国内での樹脂コンパウンド需要の堅調を背景に概ね良好な業況推移となっております。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は218億8千4百万円（前期比8.7%増）、経常利益は3億9千4百万円（前期比1.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億6千4百万円（前期比40.5%増）となりました。

当社グループのセグメント業績は次のとおりであります。

## 日本

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチックを中心に受注が高水準で推移しております。急激な受注増に生産対応が追いつかず、一部地域で生産効率の悪化を招く局面もあったことから、部門営業利益では想定内に留まりました。

樹脂用着色剤部門は、食品・飲料向けで想定を下回ったものの、トイレタリー・フィルム・建材・樹脂メーカー向けが堅調に推移したことで販売では想定を上回りましたが、販売品種構成の変化により部門営業利益は想定までには至りませんでした。

最後に、加工カラー部門は、化成品で一部の自動車産業向けや建材産業向けが比較的堅調に推移し、概ね想定どおりの結果となりましたが、液体分散体では海外関連の在庫調整の影響を受け当初想定を若干下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高は126億9千3百万円（前期比5.4%増）、営業利益は1億9千9百万円（前期比5.1%減）となりました。

## 東南アジア

東南アジアは、インドネシアでの自動車産業向けにおいて年初来の在庫調整の影響が残ったものの、その他地域での家電産業向けの受注が好調であり、全体としては概ね堅調に推移しました。当第2四半期連結累計期間の売上高は88億5千4百万円（前期比13.9%増）となりましたが、為替変動や樹脂価格上昇の影響もあり、営業利益は1億2千4百万円（前期比23.9%減）となりました。

## その他

その他は、中国での日系自動車関連の受注回復により、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億3千7百万円（前期比5.5%増）となりましたが、当初の想定を下回り、またメンテナンス費用の計上もあり営業損失は1千8百万円（前期営業損失2千2百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は299億2百万円と前期末の275億9千7百万円に比べ23億5百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は149億2千3百万円と前期末の140億7千9百万円に比べ8億4千4百万円の増加となりました。この主な要因は受取手形及び売掛金が3億3千7百万円、製品が2億4百万円及び原材料及び貯蔵品が2億4千6百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定資産は149億7千9百万円と前期末の135億1千8百万円に比べ14億6千1百万円の増加となりました。この主な要因は無形固定資産が1億2千1百万円、投資有価証券が12億3千6百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

負債合計は162億1千4百万円と前期末の149億3千2百万円に比べ12億8千1百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は126億2百万円と前期末の112億4千8百万円に比べ13億5千3百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が11億9千6百万円、短期借入金が1億1千9百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定負債は36億1千1百万円と前期末の36億8千3百万円に比べ7千1百万円の減少となりました。この主な要因は長期借入金3億4千2百万円減少し、長期繰延税金負債が2億8千万円増加したことなどによるものです。

純資産合計は136億8千8百万円と前期末の126億6千5百万円に比べ10億2千3百万円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金が1億3千8百万円、その他有価証券評価差額金が6億7千3百万円及び為替換算調整勘定が1億9千1百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期における通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,233,504	2,271,582
受取手形及び売掛金	7,063,031	7,400,770
製品	2,197,622	2,402,341
原材料及び貯蔵品	2,046,830	2,293,575
その他	539,020	555,893
貸倒引当金	△929	△985
流動資産合計	14,079,080	14,923,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,574,784	2,606,951
土地	3,604,184	3,594,445
その他(純額)	2,102,831	2,101,907
有形固定資産合計	8,281,800	8,303,305
無形固定資産		
	63,854	185,548
投資その他の資産		
投資有価証券	4,582,832	5,819,376
その他	604,407	685,734
貸倒引当金	△14,265	△14,265
投資その他の資産合計	5,172,975	6,490,845
固定資産合計	13,518,630	14,979,699
資産合計	27,597,711	29,902,877
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,980,004	7,176,279
短期借入金	3,896,727	4,016,067
未払法人税等	229,854	143,409
賞与引当金	178,078	202,031
その他	964,299	1,064,529
流動負債合計	11,248,964	12,602,317
固定負債		
長期借入金	2,363,523	2,020,561
繰延税金負債	855,824	1,135,945
退職給付に係る負債	400,394	391,799
その他	63,662	63,662
固定負債合計	3,683,404	3,611,968
負債合計	14,932,368	16,214,285

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,047,700	1,033,980
利益剰余金	8,738,836	8,877,407
自己株式	△16,150	△16,684
株主資本合計	11,251,546	11,375,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,369,211	2,043,092
為替換算調整勘定	△613,589	△421,931
退職給付に係る調整累計額	△265,786	△225,758
その他の包括利益累計額合計	489,834	1,395,402
非支配株主持分	923,962	917,326
純資産合計	12,665,343	13,688,591
負債純資産合計	27,597,711	29,902,877

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	20,136,911	21,884,735
売上原価	18,342,992	20,077,344
売上総利益	1,793,919	1,807,391
販売費及び一般管理費		
人件費	573,516	588,602
賞与引当金繰入額	62,013	66,111
退職給付費用	46,909	36,729
その他	761,254	810,811
販売費及び一般管理費合計	1,443,693	1,502,253
営業利益	350,225	305,137
営業外収益		
受取利息	3,782	1,393
受取配当金	33,888	39,628
持分法による投資利益	22,234	55,830
その他	52,773	68,148
営業外収益合計	112,678	165,001
営業外費用		
支払利息	47,894	47,936
その他	26,113	27,480
営業外費用合計	74,007	75,417
経常利益	388,896	394,721
特別利益		
固定資産売却益	1,364	574
投資有価証券売却益	71,276	-
特別利益合計	72,641	574
特別損失		
固定資産除売却損	2,696	933
その他の投資評価損	28,664	-
貸倒引当金繰入額	8,436	-
債務保証損失引当金繰入額	46,990	-
その他	5,350	-
特別損失合計	92,138	933
税金等調整前四半期純利益	369,399	394,361
法人税、住民税及び事業税	127,000	112,301
法人税等調整額	21,342	5,763
法人税等合計	148,343	118,064
四半期純利益	221,056	276,296
非支配株主に帰属する四半期純利益	33,068	12,086
親会社株主に帰属する四半期純利益	187,987	264,210



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	221,056	276,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,624	673,881
為替換算調整勘定	△484,983	△60,262
退職給付に係る調整額	36,419	39,294
持分法適用会社に対する持分相当額	△222,703	222,848
その他の包括利益合計	△563,643	875,760
四半期包括利益	△342,587	1,152,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△247,764	1,169,777
非支配株主に係る四半期包括利益	△94,823	△17,719

## (3)【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,042,582	7,774,819	19,817,402	319,509	20,136,911	—	20,136,911
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117,606	—	117,606	4,945	122,551	△ 122,551	—
計	12,160,189	7,774,819	19,935,008	324,454	20,259,463	△ 122,551	20,136,911
セグメント利益又は損失(△)	209,694	163,092	372,786	△ 22,560	350,225	—	350,225

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,693,380	8,854,216	21,547,597	337,138	21,884,735	—	21,884,735
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121,699	127	121,826	4,404	126,231	△ 126,231	—
計	12,815,080	8,854,343	21,669,424	341,543	22,010,967	△ 126,231	21,884,735
セグメント利益又は損失(△)	199,044	124,184	323,229	△ 18,091	305,137	—	305,137

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。